

問 都市型スポーツ等事業進捗は

答 山高生の意見踏まえ検討進める



山田高校生のアイデアに期待しましょう



よこた たつひさ
横田 龍寿 議員
(政和会)

問 都市型スポーツ等事業の現時点
整備推進事業の現時点

佐藤町長 10月12日に山田高校の生徒を対象としたワークショップ及びフィールドワークを実施した。ここで出された意見やアイデアなどを踏まえながら、今後具体的な検討を進めしていく。

問 そこでどのようなアイデアが出たのか。

問 10月1日の町防災訓練の参加者、避難者はそれぞれ何人か。特に避難者数が年々減少していると思うが、増加のための対策をどのように考えているか。

町長 令和5年度総合防災訓練の参加人数は696人、避難者数は272人だった。危機意識の低下が危惧され

答

今年度は272人

問

防災訓練避難者数は

佐藤政策企画課長 スケートパークを整備するなら初心者でも滑れる施設にして欲しい。中央公園のバスケットゴール利用者が多いので増設して欲しい。利用者に求めるマナー、ルール整備に対応しての提案、今後も施設整備までの間、関わりたいという要望があった。

問 山田高校ではイベントの時などにインターネットやnoteを活用しているようだ。この話し合いの内容を公表するよう山田高校に働きかけてはどうか。

問 他の町民の方からの案はどのように届ければよいか。

政策企画課長 機会の確保は大変重要で、これから検討していくため、しかし基本的に山田高校の高校生議会で提案された事業などで、山田高校の生徒を中心にしてこの事業は検討していきたい。

◆投票率向上策は
その他の質問

人頭を増やすため、訓練に併せて防災に関するイベント、シンポジウム等を開催してはどうか。
船越危機管理主幹 内容を精査し可能な限りそのような方向で進めたい。